

2012.9/8(sat)・9/9(sun)

イシノマキの時間は、今も流れている。

復興支演 Vol.6

# イシノマキにいた時間

～震災から1年が過ぎ、何が違って、何が変わらずにいるのか～

作・演出 福島カツシゲ

出演 石倉良信 田口智也 福島カツシゲ

～あらすじ～

東日本大震災後、石巻で活動する小さなボランティア団体『take action』の代表、宮川廣貴（ヒロキ）は、震災後すぐに石巻でボランティア活動を始めて、今も活動を続けている。実家が工務店の安田幸一郎（ヤス）は、GWにやってきてから、長期の活動を続けている。フリーターの飯田人志（ヒトシ）は、バイトを辞める度に石巻にやってくる。どちらかというと、石巻に来る度にバイトを辞めている。飯田のように、何度も石巻にやってくるボランティアを『カムバック組』と呼んでいた。

2011年が終わる頃『いつまで？どんな支援を？ダレのために？』被災地に残っているからこそ答えが出ない葛藤が生まれていた。そして、今日も悩みながらも、朝からテンション高い宮川と、ごくごく普通のテンションの安田のボランティアな一日が始まり、また飯田はバイトを辞めて石巻に戻ってきた。

富良野演劇工場

イシノマキの時間は、今も流れている。

復興支援 Vol.6

## イシノマキにいた時間

～震災から1年が過ぎ、何が変わって、何が変わらずにいるのか～

作・演出：福島カツシゲ

出演：石倉良信 田口智也 福島カツシゲ

富良野では、これまで『もっこり祭り』と題して4回の公演をさせてもらっています。いつも僕が考えてるのは『笑い』であり、笑いというフィルターを通して創ってきました。勿論今回も。ただ今回は、今までとはちょっと違った公演になると思います。去年のGW明けに石巻に向かい、正直3日ほど自分に出来ることをやって帰ろうと思ってました。それが2週間になり1ヶ月になり、半年以上石巻に居ました。居たというより離れられませんでした。夏には、暑さとハエと闘っていました。側溝や家に入り込んだ泥から発生した夥しい数のハエで、避難所生活をしていた人、在宅避難の人、そしてボランティアも眠れない夜が続いてました。あれから1年半です。まだ1年半です。

昨年末、ボランティア活動を通して見てきた石巻の今と、支援のカタチを伝える舞台【イシノマキにいた時間】を初めて上演しました。そこで大きな反響を頂き、今年3月には再び伝えるという意味を込めて「再伝」を。いずれも東京で被災してない人たちに伝えました。伝えたかったのは『キッカケ』でした。行動するキッカケ、伝えるキッカケ、忘れないキッカケ。そして7月、この作品を石巻で上演してきました。観に来て下さった石巻の方々から沢山の『ありがとう』を頂きました。そして『これからも伝えて下さい』とも。この舞台は、過去に起きた悲しい歴史を伝えるのではなく、今も流れているイシノマキの時間を伝えます。この舞台の台詞は、石巻で僕が耳にしたダレかの声です。

富良野では作曲家の吉俣良さんが、この作品の為に作って下さった曲の生演奏もあります。せっかくなんで『風のガーデン』も弾いてもらいましょう。とにかく沢山のの人に伝えたいと思っています。みなさん、是非ご覧ください。(福島カツシゲ)



### 福島カツシゲ

大阪府出身。  
お笑いユニット「COLORS」リーダー。現在は俳優業のみならず脚本、演出も手掛ける。第4回 WOWOW シナリオ大賞受賞。TV「こたえてちょ～だい!?」「水戸黄門」「筋肉番付～SASUKE～」1st STAGE クリア



### 石倉良信

東京都出身。  
劇団 AC ファクトリーに17年在籍後退団。在籍中から、劇団外の舞台にも多数出演。舞台「地球ゴージャス」「ロミオとジュリエット」TV「ラストマネー」映画「世界のどこにでもある場所」CM「小田急ロマンスカー」



### 田口智也

栃木県出身。  
TBS「学校へ行こう!」でデビュー。その後、男性的なキャラクターでCM映画など多数出演。映画「荒川アンダー・ザ・ブリッジ」「歩いて歩いても」「G.T.O」TV「下流の宴」CM「ダイハツ」「Softbank」他、舞台でも活躍中。



スペシャルゲスト

### 吉俣良

鹿児島県出身。  
映画やテレビのサウンドトラックを数多く手掛ける他に、aiko 等、アーティストのアレンジを担当するなど作曲・編曲家として幅広いジャンルで活躍。  
NHK大河ドラマ「篤姫」「江～姫たちの戦国～」、映画「冷静と情熱のあいだ」TV「Dr.コトー診療所」「風のガーデン」「救命病棟 24時」他、数多くの名曲を生んでいる。「篤姫」では、鹿児島県知事特別表彰、また薩摩大使にも任命されている。

初めて観たとき、涙しました。

被災地の現状、ボランティアの現状を知ることが出来るこの舞台を日本全国に届けたい。

そして、この舞台に曲を捧げたい。

幕が下りた瞬間、そんな思いに駆られました。

『風のガーデン』でもゆかりのある富良野の皆さんに、被災者の方々、そして日々ボランティアに励む方たちのことを想いながらご覧いただけると嬉しいです。(吉俣良)

【日時】9月8日(土) 14時～&19時～／9日(日) 14時～

【会場】富良野演劇工場 住所：北海道富良野市中御料

【料金】1000円(税込み・全席自由席・中学生以下無料・未就学児童の入場不可) ※開場は開演の30分前です。

【チケット販売所】富良野演劇工場、富良野文化会館、しのはら洋装店、三上整骨院

【スタッフ】照明：三浦圭子 音響：五井利枝 音楽：三善雅己 宣伝美術：STONE GARAGE

【協力】株式会社エージェンツオフィスタクト ステートレス (社)ピースポート災害ボランティアセンターと石巻のみなさん

【企画・制作】(株)EMA ベストラチ(株)

【主催】「イシノマキにいた時間」実行委員会 NPO法人 ぶらの演劇工房

【後援】富良野市 ぶらの観光協会

【お問い合わせ】富良野演劇工場 TEL 0167-39-0333